

令和5年度 第3回 学校運営協議会

令和5年11月28日(火)

1 日程説明(於:校長室)

14:30~14:35

2 授業参観 ※6校時 14:05~14:55

14:35~14:55

学 級	教 科	指 導 者	教 室
1年1組	総合	藤井茉里菜・小林雅樹	1年1組教室
2年1組	総合	高林幸汰・武井千幸	2年1組教室
3年1組	理科	片瀬 博之	理科室
3年2組	数学	鈴木 孝之	2組教室

(於:校長室)

15:00~16:00

3 開催要件確認

4 会長あいさつ

5 校長あいさつ

6 議長の選出

7 前回会議録確認

8 報 告

(1) これまでの活動報告

・部活動 ・秋輝祭 ・黎明祭

(2) 全国学調結果及び考察報告

9 熟 議

(1) 生徒の学校生活の様子・行事への取組について

(2) 来年度以降の秋輝祭・黎明祭について

(3) 令和8年度(現小6生)以降の修学旅行について

(4) 今後のコミュニティスクール(支援)について

10 浜松市教育委員会 教育総務課より

11 その他

・学校運営協議会自己評価について

・今後の予定

第4回 2月16日(金) 15:00~

・部活動参観(自由参観) 16:00~

令和5年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月27日（火） 14時30分から16時20分まで
- 2 開催場所 春野中学校 校長室
- 3 出席委員 鈴木誠、市川相寿、児玉順子、森下廣隆、山下尚美、福島英明、
正久幸廣（15時30分より参加）
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 河合和夫（校長）、沖田暁（教頭）、渡邊理保（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし

7 協議事項

- （1）授業参観を通しての生徒の様子
- （2）学校行事について
- （3）学校評価アンケートについて
- （4）2年生職場体験学習について

8 会議録作成者 渡邊理保（CSディレクター）

9 会議記録

- ・司会の 沖田暁 教頭から、委員総数7名のうち6名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。（正久幸廣委員は15時30分より参加）

（1）議長の選出について

- ・司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、児玉順子副会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果全員異議なくこれを承認した。

（2）前回議事録（R5年度学校経営構想等）確認

- ・議長の指示により、沖田 暁 教頭から資料に基づき説明があった。

（3）授業参観を通しての生徒の様子

- ・授業の参観後、委員より以下の発言があった。
 - 理科の授業を参観して、グループに分かれての授業は会話のキャッチボールができているようになった。参観していてとても勉強になった。もう少し参観の時間があってもよいと思った。（市川委員）
 - 昔は一方通行の授業が多かったが、生徒と先生との会話でコミュニケーションをとりながらの授業で、昔とは授業風景が変わってきていると感じた。（福島委員）

- 子どもたちが主体的に考えて取り組んでいる授業内容だった。ただ、少人数でクラス替えがないぶん、刺激が少ないように感じた。(森下委員)
- 子どもたちは落ち着いて授業を受けていると感じた。授業の内容を生徒が家で話して親が教えてもらう。それが子どもの復習につながっていくように感じた。(山下委員)
- 少人数ならではの授業ができていると感じた。(児玉委員)
- 小規模校ならではのよさはあるが、競争心が少ないように感じた。(鈴木委員)

(4) 学校行事について

- ・議長の指示により、沖田暁 教頭から資料に基づき説明があった。

(5) 学校評価アンケートについて

- ・議長の指示により、沖田暁 教頭から資料に基づき説明があった。
- ・委員より以下の発言があった。
- 学校評価アンケートの学習面の項目は、年に数回しか授業を参観する機会のない保護者では、判断しにくいところがあると思う。(市川委員)
- 宿題は課題以外に進んで取り組むことがよいのか、課題追究に時間を使った方がよいのか個人の感覚もあるので難しいところがある。(山下委員)
- 課題以外の学習を自分なりに進めたいけれど、課題もやらないといけないなど、負担に思う子もいるかもしれない。個人差があるので個々にあった対応をしてほしい。(森下委員)
- 与えられた課題以外にも子どもが主体的に取り組めるように促してほしい。(児玉委員)
- SNS利用については家庭によって基準が違うので難しい。(福島委員)
- SNSの講座は親子一緒に聞くことが大事だと思う。(児玉委員)

(6) 2年生職場体験学習について

- ・議長の指示により、沖田暁 教頭から資料に基づき説明があった。
- ・委員より以下の発言があった。
- 希望体験先は子どもたちが知っている範囲と知らない範囲があるので、事前に伝えておいた方がよいと思う。(山下委員)
- 日程や職種によっては受け入れができない職場もあるかもしれないので、事前に確認をした方がよいと思う。(鈴木委員)
- 子どもたちの意見を尊重しつつ体験学習をおこなってほしい。(市川委員)

その他連絡事項等

- ・司会から、次回以降の会議の日程について報告があった。

第3回 学校運営協議会 令和5年11月28日(火) 14時30分～16時00分

第4回 学校運営協議会 令和6年 2月16日(金) 15時00分～16時00分

R5 中体連夏季大会等の結果

	夏季大会	新人戦
野球	浜松地区大会 2回戦敗退 (春野・清竜・光が丘・水窪合同チーム)	浜松地区大会 第3位 西部大会出場 (春野・清竜・光が丘・水窪合同チーム)
陸上	自己ベスト更新多数	2年 木下 雅 浜松地区大会 2年走幅跳 第1位 西部大会 共通走幅跳 第2位 県大会 共通走幅跳 第3位
卓球	男子団体:予選リーグ敗退 女子団体:オープン参加	男子団体:オープン参加(順位なし) 女子:個人戦のみ参加
ソフトテニス	団体戦:予選リーグ敗退 個人戦:ベスト32(天野・酒井ペア)	団体戦 浜松地区大会 第4位 県大会出場 西部大会 第3位 個人戦 (青田・酒井ペア) 浜松地区大会 第5位 西部大会ベスト16 県大会出場 (小林・山本ペア) 浜松地区大会ベスト16 西部大会出場

ふれあえるの秋

浜松市立春野中学校
学校だより 9月21日号
文責：沖田（教頭）

生徒が躍動！！「秋輝祭」！！



去る9月9日（土）、秋輝祭（体育大会）が行われました。コロナによる制限も解け、「ようやく観覧の制限を設けずに行える！」とうれしさをかみしめていたのですが・・・、なんと今年も朝までの降雨。なかなかすんなりと開催させてもらえません。しかし、「チーム春野」はへっちゃらです。グラウンドの水取り、砂の搬入と、生徒、教員が一丸となって整備を行い、1時間半遅れでスタートできました。

競技は全部で7つ行いましたが、生徒は、元気のある、そして、若さみなぎるパフォーマンスを披露してくれました。

特に生徒会種目では、たくさんの保護者や地域の方もご協力をいただきました。今年は「借り物競走」を行ったのですが、何度も走っていただいた方、無茶な要求にも快くこたえてくださった方・・・、本当にありがとうございました！やはり、「ふれあえる」というのは、うれしいことだと、改めて感じました。

そして、昨年度からの新しい取り組みである、全校での「ソーラン節」。今年はいかがでしたでしょうか。準備や練習等の時間はたいへん限られていたのですが、3年生を中心に一生懸命練習に取り組み、本番に臨みました。

大きな声で勇ましさ表現する生徒、大きな動き全体を盛り上げようとする生徒・・・、生徒それぞれの精一杯が見られたと思います。「春野に元気を届ける」というのが本校のスローガンですが、お届けできましたでしょうか？

さて、次の大きな行事は、11月3日（金）に行われる黎明祭（文化発表会）となります。生徒の更なる活躍と成長を大いに期待したいと思います。

地域の皆様、お忙しい中、足を運んでくださり、本当にありがとうございました。また、保護者の皆さま、奉仕活動へのご協力、そして当日の応援、本当にありがとうございました。黎明祭もよろしくお願いします！





当日の様子は、本校ブログにも掲載しております。ぜひご覧ください！

本校ホームページ (<https://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/haruno-j/>)

【10月の予定】



- 1日(日) 新人大会
- 2日(月) 後期生徒会開始
専門委員会
- 4日(水) 2年職場体験(2年弁当)
- 5日(木) 2年職場体験・3年福祉体験
(2・3年弁当)
- 6日(金) 健康安全の日
- 7日(土) 新人大会
- 9日(月) スポーツの日
- 10日(火) 学校公開週間(～13日)
1年春野PR活動(1年弁当)

- 12日(木) 2年思春期講座
- 13日(金) 学校保健委員会
- 16日(月) 合唱指導(講師来校)
- 18日(水) 課題解決診断調査(3年/5科)
- 20日(金) 杉の子の日
- 29日(日) 第2回資源回収

※予備日11月12日(日)



R5全国学力・学習状況調査の結果について

【国語】

○正答率がよかった問い

1 四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く。	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
4 三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこかどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

△正答率がよくなかった問い

3 二	漢字を書く。（おし量って）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。
4 二	原文の中の語句に対応する言語を現代語で書かれた文章から抜き出す。（いと）	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。

○1 四及び、4 三のような、文と文を比較して考えたり、根拠をもって説明したりする問題についての正答率が全国・県平均を上回る結果となった。NIE学習や課題解決診断調査など、本校が取り組んでいる学習への取り組みが成果となっているのではないかと考える。

△4 二における、古文のきまりを問う問題では、全国・県平均よりも低い正答率であった。生徒の中で、古文への苦手意識があるものとして考え、学習意欲を喚起するために、まずは古典作品への意欲関心を高める取り組みを行いたい。対象となっている現代語訳は古文中のどこを指しているのかなど、多くの古文に読み親しむことで、生徒の苦手意識を減らしていきたい。

△3 二での、漢字を書く問題についても、多くの生徒が誤答をしまっている。こちらについても、全国・県の平均よりも低い、全国・県平均もおおよそ4割の正答率しかないことから、漢字を正しく書くことができない生徒が多いことがわかる。正しく漢字を書けるようにするために、授業の導入時にタブレット端末を活用して漢字の書き取りを行うことで、特定の漢字だけを書くという状況を減らしていきたい。また、それが結果として漢字を書く力につながると考える。

【数学】

○正答率がよかった問い

6 (1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める。	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。
-------	---	------------------------------------

△正答率がよくなかった問い

1	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ。	自然数の意味を理解しているかどうかをみる。
6 (2)	はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する。	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
6 (3)	はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する。	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる。

○6 (1) から、具体例が提示されている状況から、同様の操作・計算ができている。パターンの決まっているものは作業的にすることができている。

△大問1の正答率から、用語の意味を曖昧にしたまま学習が進んでいるように感じる。既習の内容であっても関係する語が出るたびに意味を確認して、繰り返し触れる機会を増やしていく。

△6 (2) ・ (3) から、具体的な数字ではなく、文字を含んだ一般化された式で考えるようになると正答率が下がる。文字に対する苦手意識や文字を数として捉えることの力の低さうかがえる。文字を活用することのメリットや、一般化の意味について触れ、概念として文字を活用する時間をとる。また、筋道立てて説明する力を育成するために、級友に説明する時間をとること、説明された人が説明してくれた人に説明する時間をとる。また、なぜその操作をしたのかを机間巡視の中で説明を求めていく。また、普段から自身の考えを言語として説明させる習慣をつけるために、答えだけではなく「どうやったのか」「なんでそうしたのか」などを聞く時間を確保していく。

【英語】

○正答率がよかった問い

1 (2)	道案内の会話を聞き、内容に適した絵を選択する。	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。
-------	-------------------------	--------------------------

△正答率がよくなかった問い

1 (3)	買物の場面における会話を聞き、内容に適した絵を選択する。	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。
3	説明を聞き、与えられた自分の役割を選択する。	自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。
5 (1)	英文を読み、その内容を表しているグラフを選択する。	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる。
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する。	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる。
7 (1)	英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する。(For example)	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる。
8 (1)	英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する。	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる。
8 (2)	英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く。	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。
9 (1) ②	英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、英文を完成させる。	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる。
10	学校生活 (行事や部活動など) の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

△ 1 (2), (3), 3 リスニングは比較的できている問題もあるが、自分にとって必要な情報を取捨選択することが難しい。

△ 5 英単語の暗記に苦手意識がある様子。英文の内容を正しく理解するために、繰り返し単語の定着をしていく。また、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるように、動詞の違いに注目して教科書の本文を取り扱っていく。

△ 7 2年時に学んだ内容が定着していない。1, 2年の内容を復習する機会を定期的に設定していく。

△ 8, 10 自分たちの身近な話題については意欲的に英文を書こうとしているが、社会的な話題に関して自分の考えやその理由を書くことが難しい。日頃から社会的な話題の英文を読む機会を設け、自分の意見を書く練習をしていく。

△ 9 (1) ② 答えから質問を予想することが難しい。答えの形に注目して、何を聞かれているのかを予想し、疑問文を書けるように練習していく。

【英語】

○正答率がよかった問い

1 (1)	動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、ゾウの誕生日を伝える。(3人称の肯定文)	日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。
-------	---	---

1 (3)	動物園でのやり取りの中で、カンガルーが食べるものについて留学生に質問する。(3人称の疑問文)	疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。
-------	--	---

○ 1 (1) 日付に関する基本的な質問と返し方は概ね理解できている。

△ 1 (3) 3人称の疑問文で尋ねることが難しいため、ペア同士の対話だけでなくALTについて尋ねたりグループワークの機会を設けたりして、3人称や複数形の疑問文の形を定着させていきたい。

【生徒質問紙】

①「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の割合が全国や静岡県より高かった主な項目

・将来の夢や目標を持っていますか。
・学校に行くのは楽しいと思いますか。
・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。
・国語の勉強は好きですか。

地域を大事に思う気持ちが強い。また、学校生活は充実しており、前向きに活動できていることがうかがえる。

②「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の割合が全国や静岡県より低かった主な項目

・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
数学の勉強は好きですか。
英語の授業の内容はよく分かりますか。
1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか。 （地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）

学習に対する興味・関心や理解が低いことがうかがえる。

また、家庭で2時間以上学習している生徒の割合が、全国・県と比べて20%程度低いのも気になる。部活動の参加日数は平均と比べて低く、家庭での時間はより多く確保できているであろううえでの回答である。

生徒に自分の生活面の改善を促すのはもちろんだが、学校としては、学習やタイムマネジメントの方法を例示するなどの支援を行っていきたい。また、教科の魅力が伝わるよう授業改善を行い、生徒の学習に対する興味・関心を高めていきたい。

R 6 年度以降の秋輝祭、黎明祭について

(現状) 秋輝祭 9 月・黎明祭 11 月

○「地域に元気を運ぶ」活動の一貫であるので、保護者や地域の方に足を運んでいただく機会が多いのはよいことである。

△9 月における体育的行事の開催は、天候の心配が大きい。(降雨、気温等)

△準備期間が短いことによる弊害。

- ・実行委員会等の時間が思うようにとれない。その影響もあり、生徒の主体的な活動にうまくできていない。(じっくりできない)
- ・教職員の負担が大きい。
- ・生徒・教職員に余裕がない。(計画を立てる困難さ)

△行事が集中している。

- ・二つの行事の間に、各学年で総合の校外学習等も組まれているので、時間的な余裕がない。

(今後に向けての案)

①秋輝祭と黎明祭の時期の入替

○降雨や気温の心配が少ない。

△合唱練習の日程の組みにくさ。

△展示の作品等が間に合わない可能性。

②秋輝祭と黎明祭の同日開催(時期は11月)

秋輝祭のねらい

- ・体育的行事として、保健体育授業の発表の場、特別活動の協力の場、助け合いを中心とした生徒相互の結束の場、教師と生徒の信頼を深める場とする。
- ・「地域の人に元気を運ぶ春中生」の具体的な発表の場として、保護者や地域の人への発表の一場面とする。

黎明祭のねらい

- ・学級や学年、全校生徒が丸となって黎明祭を作り上げることを通して、一つのことを共に築き上げる喜びや達成感(を味わい)、協力することの大切さを学ぶ場とする。
- ・保護者や地域の方々に生徒の取組を見ていただき、「地域に元気を運ぶ春中生」の具現化を図る場とする。

○共通したねらいが多く、相容れるものと考えられる。

○生徒も教職員もじっくり取り組める

○降雨や気温の心配が少ない。

△地域の方が学校を訪れる機会が減る。

③秋輝祭と黎明祭の隔年開催（時期は11月）

○共通したねらいが多く、相容れるものと考えられる。

○生徒も教職員もじっくり取り組める

○降雨や気温の心配が少ない。

△生徒の活躍の場の減少。

△地域の方が学校を訪れる機会が減る。

令和 8 年度以降の修学旅行について

- 令和 6 年度及び 7 年度については、これまで通り 3 泊 4 日の旅程で行うこととする。
 (下の現 1・2 年生及びその保護者へのアンケート結果を踏まえ決定)

① 修学旅行の日程は、次のいずれが適当であるとお考えですか。

	保護者			生徒		
	全体	1 年	2 年	全体	1 年	2 年
3 泊 4 日	10	5	5	10	5	5
2 泊 3 日	3	1	2	9	2	7
どちらでもよい	17	9	8	8	6	2

※ 3 泊 4 日を支持された保護者の方の意見には、「コロナ禍において、小学校の修学旅行を制限されたので、その分、中学校では子どもの希望するように…」というものが複数見られた。

■令和 8 年度(現小 6)以降は、2 泊 3 日の旅程で行いたい。

【2 泊 3 日で行う理由】

- ・ 2 泊 3 日であっても、ねらいは十分に達成できる。
- ・ 保護者の経済的な負担が大きい。
- ・ 泊が長くなると、食物アレルギー等、個別に対応が必要な生徒の負担が大きくなる。

(参考資料① 本校における修学旅行のねらい)

- ・ 日本の歴史的な建造物の見学や伝統文化に直に触れることで、日本文化の素晴らしさを感じ取る。
- ・ 団体行動を通して、社会性・公共心・責任感を養う。
- ・ 修学旅行に向けた話し合いや事前学習により、情報収集能力、企画力、主体性を育む。
- ・ 修学旅行を通して学んだことをまとめたり発表したりすることを通して、表現力や情報発信能力を養う。

・3泊4日の場合の行程予定

1日目

7:00 学校発 — 京都市内を全体研修 — 京都市内で宿泊

2日目

8:30 ホテル発 京都市内班別研修(シルバーガイド同行予定) — 大阪市内で宿泊

3日目

8:30 ホテル発 — 大阪市内全体研修 — 宝塚大劇場 — 奈良市内で宿泊

4日目

8:15 ホテル発 — 奈良市内研修 — 18:10 学校着

○1人あたりの経費

約 73,000円 + 班別研修費、お土産代

・2泊3日の場合の行程予定

1日目

7:00 学校発 — 宝塚大劇場 — 京都市内で宿泊

2日目

8:30 ホテル発 京都市内班別研修(シルバーガイド同行予定) — 奈良市内で宿泊

3日目

8:15 ホテル発 — 奈良市内研修 — 18:10 学校着

○1人あたりの経費

約 58,000円 + 班別研修費、お土産代

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

＜評価項目＞

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

（1）教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

（2）教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表
委員名 ()

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけではなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけではなく、協議会全体としての目標を記載する。

全国コミュニティ・スクール研究大会

地域とともにある学校づくり推進フォーラム2023南部町
令和5年度鳥取県「コミュニティ・スクール推進研修会」兼「地域学校協働活動研修会」

by
鳥取県
南部町

【次案内】

コミュニティ・ スクール その先へ

～今こそ魅せる 大人の本気～

2023年12月15日(金) 10:00～16:30



参加費
無料



WEB
同時開催

会場 / 米子コンベンションセンター
鳥取県米子市末広町 294



会場 / キナルなんぶ (第5分科会のみ)
鳥取県西伯郡南部町法勝寺 341

〈対象〉 学校管理職・教職員・行政職員・学校運営協議会委員
地域学校協働活動推進員・地域コーディネーター・学校評議員・学校支援ボランティア等
地域と学校の活動に関わっている全ての方

申し込み

申し込みは「会場参加」「WEB視聴」の2種類があります。
どちらも下記の申し込みフォームよりお申し込みください。



※プログラムの内容は、予告なく変更する場合があります。

〈申込期間〉

10月16日(月)～11月30日(木)

<https://forms.gle/GqwPYTD3PXfdMQQM8>

詳細

本研究大会の
大会ホームページはこちら



- ☒ 飲食店や観光情報
- ☒ シャトルバス
- ☒ 宿泊施設情報
- ☒ キナルなんぶ

についての情報など

<https://sites.google.com/g.torikyo.ed.jp/csby/>

主催 ● 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 / 文部科学省 / 鳥取県教育委員会 / 南部町教育委員会

後援 ● 全国知事会 / 全国市長会 / 全国町村会 / 全国都道府県教育委員会連合会 / 全国市町村教育委員会連合会

指定都市教育委員会協議会 / 全国都市教育長協議会 / 中核市教育長会 / 全国町村教育長会 / (公社) 日本PTA 全国協議会
(一社) 全国高等学校PTA 連合会 / (公社) 全国子ども会連合会 / 米子市教育委員会

【コミュニティ・スクールその先へ】

未来を担う子どもたちを地域全体で育む地域とともにある学校づくりと、地域や子どもをめぐる課題解決のためのプラットフォームにもなり得る学校を核とした地域づくりを進めるためには、学校・家庭・地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することが不可欠であり、新たな教育振興基本計画においても、これを基本施策の一つとして位置付けているところです。

この必要性や良さについて、鳥取県・南部町をはじめとする全国の実践研究等から学び、考え、意見を交わすことにより、子どもの幸せを願う全ての大人が当事者として実効性ある取組を重ね、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進めることを目指し、本研究大会・フォーラムを開催します。

午前の部

10:00~12:05

【開会行事】 10:00~10:30

1. オープニングムービー
2. 主催者挨拶
3. 歓迎のことば
4. 来賓紹介

【行政説明】 10:35~10:55

文部科学省

【事例発表】 10:55~12:05

◎発表者

山口県長門市立深川中学校 校長	新居 淳治
南部町教育委員会総務・学校教育課 課長	水嶋 志都子
南部町教育委員会協働活動統括推進員	田丸 睦悌
南部町法勝寺中学校区学校運営協議会 会長	原 和正

◎講師

山口県美祢市立大嶺小学校 校長	相田 康弘
-----------------	-------

ACCESS GUIDE



米子コンベンションセンター(メイン会場)

鳥取県米子市末広町294

TEL.0859-35-8111

◎ JR米子駅から徒歩5分

アクセス

- ◎ 米子空港から30分
- ◎ 山陰道米子中ICから5分

キナルなんぶ(第5分科会のみ)

鳥取県西伯郡南部町法勝寺341番地

※アクセスについては、大会ホームページをご覧ください。

シャトルバス運行

12時40分 米子コンベンションセンター発

◎問い合わせ

全国コミュニティ・スクール研究大会
南部町実行委員会事務局
(南部町教育委員会事務局内)

TEL 0859-64-3787 FAX 0859-64-2183

Email: csnanbu2023@g.torikyo.ed.jp

午後の部

【アトラクション】 12:55~13:20

荒神神楽

鳥取県立日野高等学校 郷土芸能部

【パネルディスカッション】 13:20~14:45

テーマ「コミュニティ・スクールの その先に期待すること」

◎パネリスト

東京学芸大学総合教育科学系 准教授	柴田 彩千子
鳥取県日野町立日野学園 校長	砂流 誠吾
茨城県牛久市 前市長	根本 洋治
南部町教育委員会 教育長	福田 範史

◎モデレーター

文部科学省国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ

◎グラフィックファシリテーター

文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
社会教育調査官 石津 峰

【分科会】 14:55~16:20

01 ●テーマ **地域とともにある学校づくり**
小学校・中学校

●発表者 大阪府立富田林中学校 校長 大門 和喜
鳥取県伯耆町教育委員会生涯学習室 CSディレクター 小澤 敦彦

●指導助言 文部科学省 CS マイスター 安田 隆人
(岡山県高梁市教育委員会社会教育課 参事)

02 ●テーマ **地域とともにある学校づくり**
高等学校・特別支援学校

●発表者 熊本県立小国高等学校 教頭 梶山 昌浩
岡山県立東備支援学校 校長 清水 珠希

●指導助言 文部科学省 CS マイスター 香山 真一
(岡山県青少年教育センター閑谷学校 所長)

03 ●テーマ **学校を核とした地域づくり**

●発表者 鳥根県益田市立豊川小学校 社会教育コーディネーター 八川 将也
鳥取県立岩美高等学校 校長 辻中 孝彦

●指導助言 文部科学省 CS マイスター 竹原 和泉
(「特非」まちと学校のみらい 代表理事)

04 ●テーマ **教育行政**

●発表者 広島県府中市教育委員会学校教育課 課長 大川 幸雄
鳥取県境港市教育委員会生涯学習課 統括コーディネーター 松田 寛彦

●指導助言 文部科学省 CS マイスター 梶原 敏明
(大分県玖珠町教育委員会 教育長)

※第5分科会は定員50名につき、参加は抽選になることがあります。

05 ●テーマ **社会教育** 14:00~16:20

●発表者 南部町新☆青年団 へん to つくり 団長 清川 葉月
南部町高校生サークル With you 翼 代表 秦 登希也

●指導助言 (一財)日本青年館「社会教育」編集長 近藤 真司

【アトラクション】 13:30~13:50

小松谷盆踊り

小松谷盆踊り保存会

【閉会行事】 16:20~16:30

